

令和8年3月19日

件名 高崎市ゆかりの幕臣 小栗上野介企画展の開催について

---

市と高崎市小栗上野介プロジェクト推進協議会（会長：安藤震太郎（一社）高崎観光協会理事長）では、高崎市役所本庁舎において、2027年NHK大河ドラマ主人公である小栗上野介を紹介する企画展を開催いたします。

○開催期間 令和8年3月23日（月）～令和8年4月24日（金）  
時間は午前9時から午後5時まで

○開催場所 高崎市役所本庁舎 中2階ロビー

○開催内容 小栗公に関連するパネルや、小栗かるたの展示等を行い、2027年NHK大河ドラマの主人公である小栗上野介の生涯やその主な功績などをわかりやすく学ぶことが出来る展示です。

○入場料 無料

○主催 高崎市、高崎市小栗上野介プロジェクト推進協議会

○協力 一般社団法人小栗上野介顕彰会

---

【本件に関する問い合わせ】

商工観光部観光課

電話：027-321-1257

# 高崎市ゆかりの幕臣 小栗上野介企画展



期 日：3月23日（月）  
～4月24日（金）

時 間：午前9時～午後5時

会 場：高崎市役所本庁舎  
中2階ロビー

入場料：無料

# 罪を斬る



小栗上野介肖像画(東善寺蔵)

## 日本近代化は小栗上野介のレールの上に

■譜代の旗本に生まれ、遣米使節として米国～世界一帯の旅から帰国すると外国、勘定、江戸町、歩兵、陸軍、軍艦、海軍各奉行を歴任。幕府の要職にあって米国での見聞を基に日本近代化の方策を実行に移し、横須賀造船所建設、仏語伝習所や日本初の株式会社兵庫商社の設立、仏式軍隊の導入訓練、滝野川反射炉による大砲製造のほかガス灯・郵便制度・鉄道・新聞発行を提唱するなど幕末の多端なかに活躍、「明治の近代化は小栗の敷いたレールの上になされた」といわれる業績を残している。

■幕府崩壊後、移り住んだ領地権田村で、上野介、塚本真彦・荒川祐蔵・佐藤藤七とアメリカ帰りの四人が若者の教育を目指した。しかし、小栗公の実力を恐れた西軍により小栗父子は家臣とともに無実の罪で斬首された。

■村人は夫人・母堂らを護衛、山河はるかに野反湖～新潟～会津へ逃れ、会津で生まれた女兒とともに、戊辰戦争後に静岡まで送り届けその遺族を護った。それは何の報償も求めぬ義挙であった。



顕彰慰霊碑(水沼河原)

『偉人小栗上野介  
罪なくして此所に斬らる  
岳南嶋川新 書』

### 小栗上野介の生涯

| 和暦                  | 西暦    | 事項                                      | 参考事項                                     |
|---------------------|-------|---|--|
| 文政10年6月             | 1827  | 江戸駿河台で生まれる                              | 1853 ベリー浦賀来航<br>1858 日米修好通商条約調印<br>安政の大獄 |
| 安政6年9月              | 1859  | 本丸御目付になる<br>豊後守になる                      |  |
| 万延元年1月              | 1860  | 遣米使節目付としてアメリカへ、<br>アフリカ、アジアを巡り品川に<br>帰着 | 1860 威臨丸、ボウハタン号出航<br>井伊直弼暗殺              |
|                     | 11月   | 外国奉行になる                                 | 1861 対馬事件<br>アメリカ南北戦争                    |
| 文久2年6月              | 1862  | 勘定奉行勝手方になる<br>上野介になる                    | 1862 生麦事件                                |
|                     | 閏8月   | 江戸町奉行になる                                |  |
|                     | 12月   | 歩兵奉行になり、勘定奉行<br>勝手方を兼任する                |  |
| 文久3年7月              | 1863  | 陸軍奉行になる                                 |  |
| 元治元年8月              | 1864  | 勘定奉行勝手方になる<br>勘定奉行を免ぜられる<br>軍艦奉行になる     | 1864 禁門の変<br>下関戦争                        |
| 慶応元年5月              | 1865  | 勘定奉行勝手方になる<br>横須賀製鉄所納入式                 |  |
|                     | 9月    |   |  |
|                     | 2年8月  | 海軍奉行を兼任する                               | 1866 薩長同盟                                |
|                     | 3年12月 | 陸軍奉行を兼任する                               | 1867 大政奉還                                |
|                     | 4年1月  | 役職すべてを罷免される<br>上州権田村へ移り、<br>東善寺に仮住まい    | 1868 戊辰戦争                                |
|                     | 3月    |   |  |
| 閏4月6日<br>(現在の5月27日) |       | 西軍により斬首される                              | 江戸を東京と改める                                |

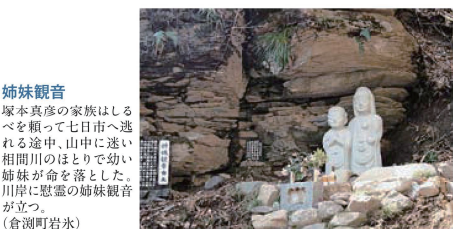
## 倉渕の里にみる小栗上野介の史蹟



現存する上野介の居宅  
観音山に用水を引き、建てかけたが未完に終わった。(現都丸薫氏宅・前橋市総社町)



観音山から浅間隠山を望む



姉妹観音  
塚本真彦の家族はしるべを頼って七日市へ逃れる途中、山中に迷い相聞川のはとりで幼い姉妹が命を落とした。川岸に慰霊の姉妹観音が立つ。(倉渕町岩水)



東郷平八郎の書

明治45年東郷は、遺族を招き「日本海海戦で勝利したのは小栗さんのおかげ」と礼を述べ、この書を贈った。(東善寺蔵)



東善寺境内・上野介と栗本鋤雲の胸像

東善寺は小栗家五代政信公を中興開基とする曹洞宗の寺。上野介一家はこの寺に二ヶ月あまり仮住まいして、観音山に居宅建設を進めた。



黒椿

江戸から運ばれた椿が、黒みをおびた名花を上野介主従の墓のわきに咲かせる。

小栗上野介父子の墓(東善寺)

正面に小栗上野介(右)、又(左)左右に殉難の家臣らの墓が並ぶ。



遺品

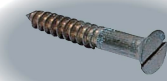
欧米文化を象徴するアメリカ土産をはじめ、刀、槍、麻鞋、小銃などが残されている。(東善寺蔵)

手回しドリル

望遠鏡

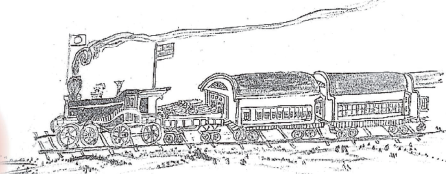


ピストルとケース



ネジ釘

「こういうものをどどん造れる国にしたい」と遺船所から持ち帰った。



汽車(パナマ鉄道)

パナマでボウハタン号を下船、汽車で大西洋側へ出た。鉄道が株式会社の手法で建設運営されている説明を受けた。

(権田村名主・佐藤藤七「渡海日記」挿絵)